

デジタルソリューション事業

販売・開発が一体となり、シェア拡大に向けた施策、先行投資分野における取り組みに注力します



上席執行役員
山近 幹雄

当部門の2023年度の業績は減収減益となりました。

主要因は、半導体サイクルによる需要減少に起因する販売減と戦略投資による固定費の拡大によるものです。一方でディスプレイ材料はパネルメーカーの稼働率が向上するなど、想定より強い市場回復が見られました。

体制面では、2023年6月に、既存事業における研究開発をCTOの管轄から事業部の管轄へ変更しました。開発部門との連携をさらに強化し、販売・開発が一体となって、外部環境の変化に迅速に対応し、取り組んでいきます。

また、販売・生産体制をより一層サステナブルなものとするため、デジタルを活用し、サプライチェーンマネジメントを強化していきます。

半導体材料

事業の強み

- 高品質製品の安定供給
- 顧客ニーズに即した柔軟な開発・販売・生産体制
- 高分子・有機合成技術や分析技術をベースに培った製品開発力・課題解決能力
- 長年の実績による顧客からの強い信頼

事業環境認識

- 社会のデジタル化による半導体需要増
- デジタル技術革新による最先端材料のニーズ増
- 半導体チップの微細化、5G需要拡大
- デジタルインフラの発展

ディスプレイ材料・エッジコンピューティング材料

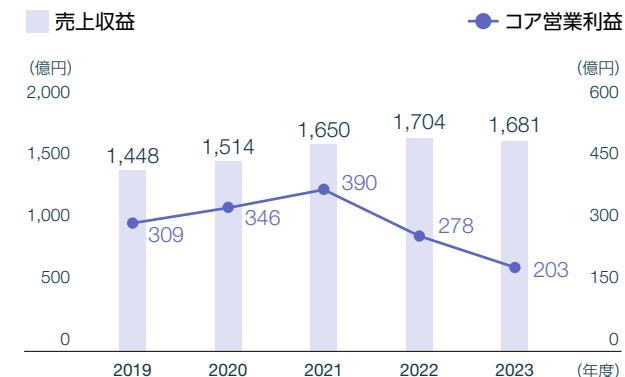
事業の強み

- 高シェア製品の保有
- 顧客ニーズに対応した販売・生産体制
- 高分子技術をベースに培った技術力

事業環境認識

- 4K・8Kなど高精細テレビの普及
- 堅調な液晶パネル需要に伴う中国での液晶パネル生産拡大

売上収益／コア営業利益

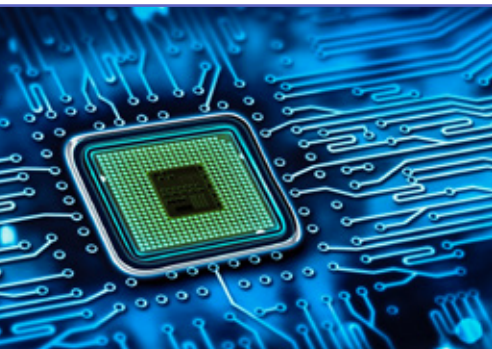


主要製品売上 (前年度比)

半導体材料	YoY ytd
EUV	+5%弱
ArF	-5%程度
多層材料	-10%弱
その他リソグラフィ材料	-5%程度
CMP材料	+5%程度
洗浄剤	-50%程度
実装材料	+15%程度

ディスプレイ材料	YoY ytd
配向膜	+5%強
絶縁膜	+45%程度
着色レジスト	横ばい
OLED材料	+55%程度

エッジコンピューティング	YoY ytd
ARTON	-10%程度



成長戦略——半導体材料

先端フォトレジストを中心に 市場成長率を上回る売上収益の実現と さらなるシェア拡大を目指す

デジタルソリューション事業の主力である半導体材料事業においては、市場成長以上の売上成長を目指します。特にArFレジスト、多層材料の市場シェアをさらに向上させるとともに、EUVレジストの本格的な立ち上がりを取り込みます。これにより、半導体材料事業の対面業界であるシリコンウエハー投入量の中期的な成長率を上回る売上収益

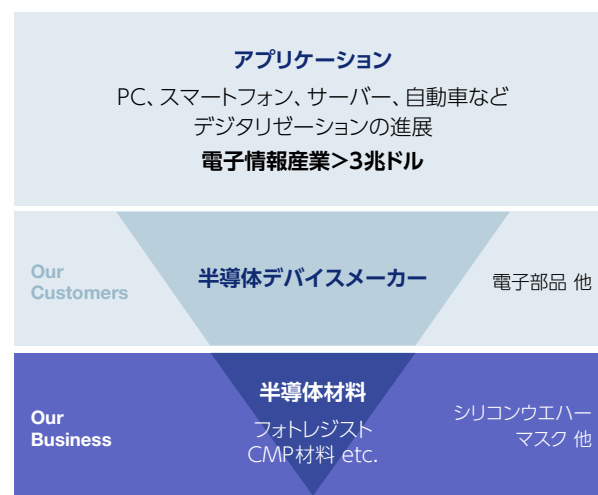
の成長を目指しています。2023年度は、アジア拠点強化とEUVフォトレジスト分野への先行投資や新規材料やプロセスなど将来有望なベンチャー企業への支援・協業や産学連携を進めました。一部に鈍化が見られるものの、今後もPCやスマートフォン、サーバー、自動車などのデジタル化の進展に伴う半導体需要の高まりに合わせて、市場

成長および事業環境ベースの予想を上回る成長を実現していきます。

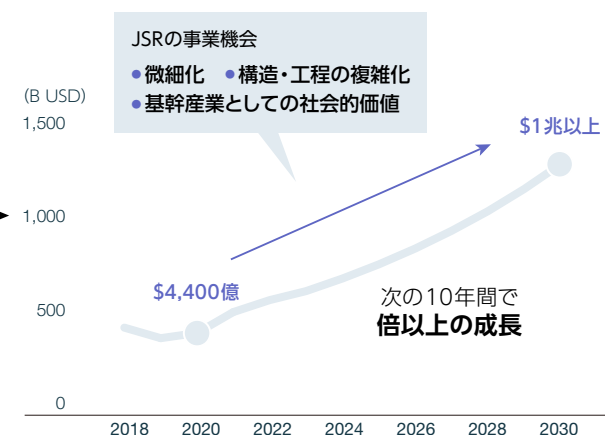
こうした市場環境を踏まえたうえで、さらなる拡大が見込まれているArF、EUVなどの先端フォトレジストへの注力を継続していきます。ArFフォトレジストについては、JSRがグローバルでトップクラスのシェアを確保し、世界で生産される半導体の約1/3に当社の製品が使用されている状況に満足することなく、引き続きシェアを向上させていく方針です。EUVでは、台湾・韓国市場を中心とする最先端分野の3nm(ナノメートル)世代以降およびメモリ向けへの貢献を高めてトップランナーを目指します。加えて、プロセスの複雑化に対応したCMP材料、実装材料の大幅な成長も見込んでいます。

市場	規模	●フォトレジスト市場計：20億ドル (半導体市場：5,500億ドル)
	トレンド	●安定的に成長 ●技術革新の進展
社会的価値		●スマート社会の実現(AI、IoT) ●小型化と省電力での高性能化の実現
強み		●先端材料で高い市場シェア (例：ArF 30%程度、配向膜 50%程度)
戦略		●半導体材料事業へリソースを集中 ●M&Aを含む事業規模および分野の拡大

JSRのポジション



半導体市場



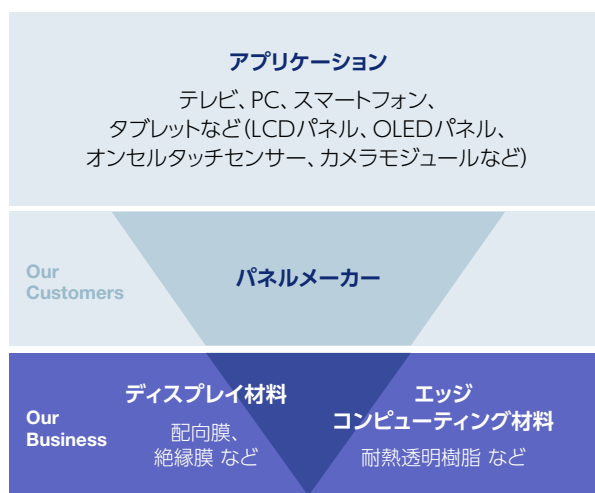


成長戦略——ディスプレイ材料

ディスプレイ市場環境が大きく変化する中 コスト構造を最適化し 先端材料の開発・販売拡大に注力

JSRは、ディスプレイ市場環境が大きく変化する中、2020年度よりグローバルでの事業再編を実施しました。着色レジストを生産していた台湾工場は2022年3月に閉鎖、韓国工場の生産も縮小し、成長する中国市場を主要マーケットと位置づけてリソースをシフトし、コスト構造の最適化が図られました。

JSRのポジション



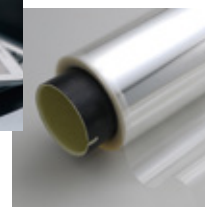
中国市場においては、お客様の生産調整や技術課題解決への機動的な対応に加え、当社が高い競争力を持つ配向膜・絶縁膜のシェア拡大や、OLED材料の展開を続けており、中期的にも安定的な収益を確保する事業基盤を構築しています。

配向膜・絶縁膜は、高精細・高輝度等のパネル性能向上と、歩留まり・スループット等のパネル製造における生産性向上の両面に寄与する重要な材料です。今後、低温プロセス導入やPFASフリー等の環境対応、AR/VR・屋外パブリックディスプレイ等のアプリケーションの拡大が見込

製品ラインナップ



LCD材料、OLED材料



耐熱透明樹脂ARTON® (アートン)

まれています。

JSRは、中国事業インフラの活用に加え、パネルの技術進化に対応した先端プラットフォーム技術開発と品質競争力の強化により、お客様に先端材料・プロセスソリューションの提供を拡大するとともに、LCD材料事業のキャッシュ・フローの最大化を図り、高ROICのキャッシュカウとして持続的な事業構造を確立していきます。

2023年度は成長が期待される中国市場において、注力している大型TV用液晶パネル向けの配向膜と絶縁膜などの競争力のある製品を中心に拡販を進めました。パネルメーカーの稼働率向上により販売が増加し、売上収益、コア営業利益ともに前期を上回りました。

今後拡大するモバイル・IT用OLED材料の取り込みに向けて、当社の強みを活かせる低温絶縁膜材料、光取り出し効率アップ高屈折材料、低誘電薄膜封止材料などの販売拡大に注力し、ポートフォリオを拡大しています。加えて、LCD用配向膜分野では光IPS市場の開拓に注力し、売上の拡大を目指します。

事業の進捗

- 中国市場でのシェア拡大 (配向膜・絶縁膜)
- 新製品の浸透拡大 (光IPS/OLED)
- 市場の構造変化に対する事業再編を完了
- 事業を最適化し、成長期へ